

平成30年度

予

算

を

問

う



総括質疑

予算特別委員会

予算特別委員会では、2月27日、28日、3月1日、2日の4日間、21人の委員が予算全般について質疑を行いました。

当初予算額の精査

特別区税の一般会計当初予算額と決算額のかい離が恒常化している。特別区税の調定額の精査が必要ではないか

答 経済情勢や景気動向に注視し、当初予算の見積りの精度を高めた。

基金活用に係る計画等の策定

施設整備に基金を活用するのであれば、根拠となる計画等の策定が必要ではないか

答 毎年の予算編成において、財政事情を考慮し、今後5年間の基金や起債、施設整備に係る計画を当初予算案の概要等で示していきたい。

自動通話録音機貸与事業

高齢者への貸与に当たり、設置や操作の仕方、管理の在り方が重要ではないか

答 貸与の際は十分に説明する

認知症対策

これからは、認知症当事者の地域貢献を視野に入れた介護サービスも増え、利用者が有償ボランティアとして活躍できる、次世代型のデイサービスニーズが高まっていくものと思う。区内にも次世代型のデイサービスの開設推進を検討すべきではないか

答 初期の若年性認知症等の



自由民主党議員 伊東 しんじ



日本共産党議員 羽鳥 だいすけ

学校図書館

2020年から全小・中学校図書館の図書指導員を民間委託に転換するという方針を出したのはなぜか

答 共通の図書館システムを通じた蔵書の相互活用を促進し、業務が委託されると、雇用契約がない立場の者から指揮命令を受けることはできず、教職員との密接な連携ができなくなるのでは。

子育てひろば事業

事業を行う施設の配置バランスは検討しているのか

答 乳幼児親子が利用しやすい身近な場所を考えている。現児童館施設等、貴重な地域資源の活用を図ってきたい

幼稚園教諭人材確保支援対策

幼稚園型一時預かり事業を行う幼稚園以外にも支援の対象を広げるべきではないか

答 事業を行っていない幼稚園に対しても就職奨励金の予算を計上し、対策を講じているが、その効果を検証し、推移を見守りたい。



自由民主党議員 公明党議員 久保 りか

踏切渋滞と学校再編の課題

鷺宮小学校と西中野小学校の統合新校は、平成35年に第八中学校の位置に開設される予定である。統合新校に通学する白鷺地域の児童は毎日踏切を渡ることになる。教育委員会として踏切の解消等、西武鉄道に依頼すべきでは

答 児童の安全のため、通学路の踏切対策について要望することを検討していきたい。

統合後、西中野小学校を仮校舎として北中野中学校の

職員として雇用を続けることが必要ではないか

答 区は委託化を考えている

生命線と考える

都に、踏切も解消できる案を検討するよう求めるのか

引き続き都と意見交換をしていく予定である

区として都に対し、現在の状況についての説明会を開催するよう求めるべきでは

構造形式について、都市計画の素案の段階で都から説明されると聞いており、区から求める考えはない

構造形式について、住民の意向調査をすべきでは

構造形式の比較設計は基本的に連立事業の事業主である都が行うものであり、区として現時点での考えはない

地下化を都へ求めていくべきでは

構造形式にとらわれず、一日も早く連立主体交差事業が実現するように関係機関に働きかけていく



な特別教室の整備や、運動部活動を想定した屋内運動場の床整備等を行う必要がある

統合新校に改築する前の第八中学校を仮校舎として利用することで、スムーズに建て替えができるのではないかと

第2次再編計画に基づき、平成35年度の鷺宮小学校と西中野小学校の統合の時期に合わせ、第八中学校の改修が必要であると考えている